

令和7年度 第3回 給食施設従事者研修会

「加齢性嚥下障害に対する食事支援」

一般社団法人 福岡県言語聴覚士会 副会長
福岡国際医療福祉大学 言語聴覚学科
吉永 明史

本日の話し

1. 正常な摂食嚥下の流れ
2. 加齢による摂食嚥下機能の変化
3. 摂食嚥下機能を支える要素
4. 支援事例の紹介

本日の話し

1. 正常な摂食嚥下の流れ
2. 加齢による摂食嚥下機能の変化
3. 摂食嚥下機能を支える要素
4. 支援事例の紹介

正常な摂食嚥下の流れ



認知期

○認知期の役割

- ・食物の形，量，質などを認識し，食べる準備をする.
- ・過去の記憶(経験)と照合し，味，食感などを予測する.
- ・一口量や食べる速さを調整する.

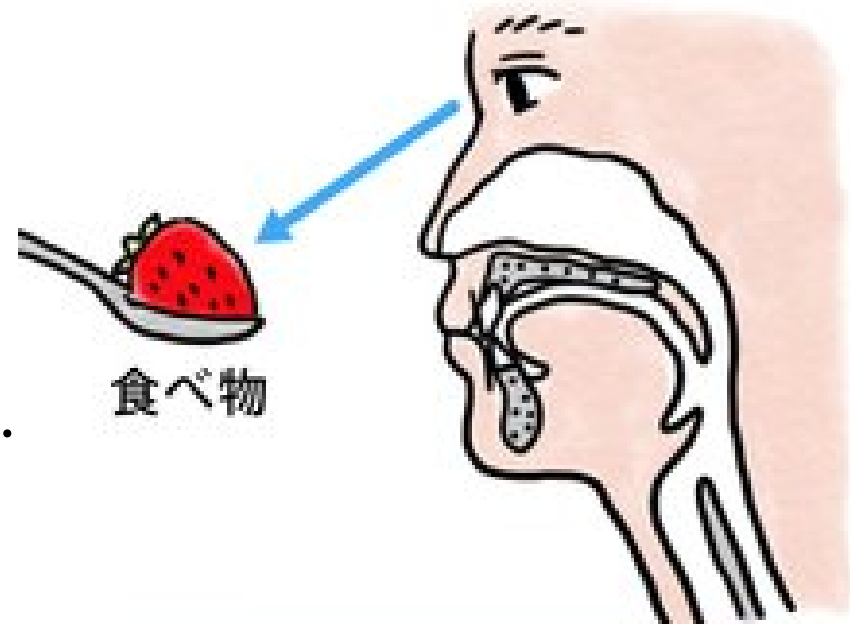
認知期

準備期

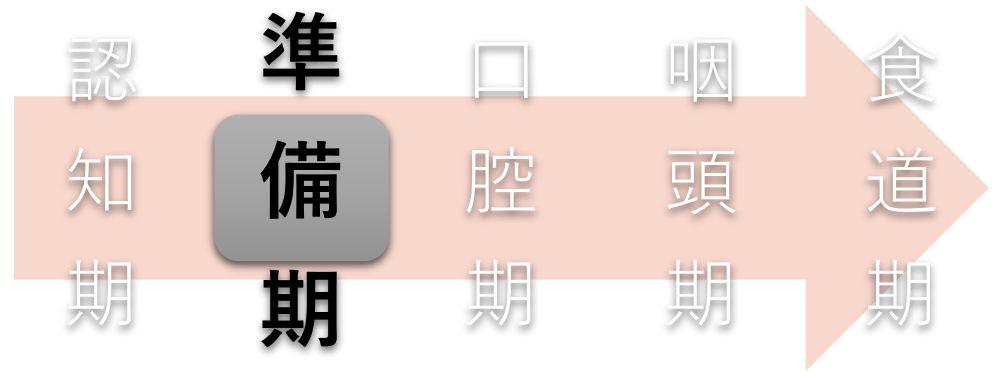
口腔期

咽頭期

食道期

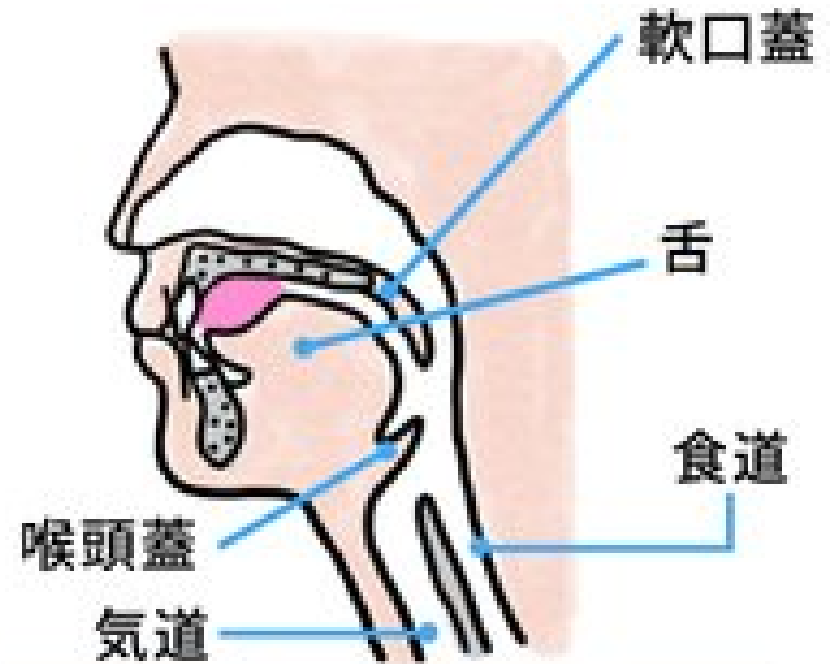


準備期



○準備期の役割

- ・食物の取込み.
- ・嚥下しやすい形に咀嚼する.
- ・咀嚼した食物を口腔内でまと食塊を形成する.



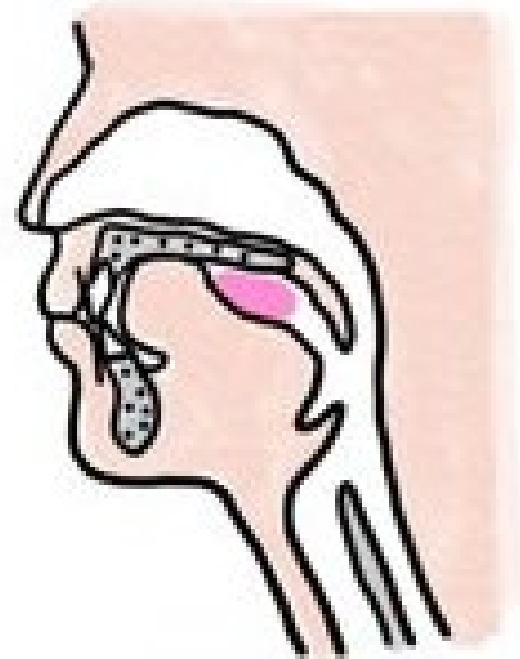
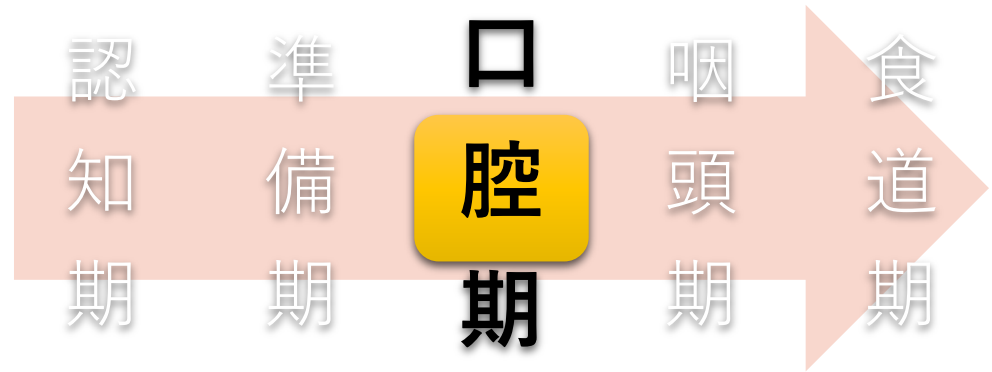
口腔期

○口腔期の役割

- ・食塊を口腔から咽頭にへ送り込む。

※水分はいっきに送り込む

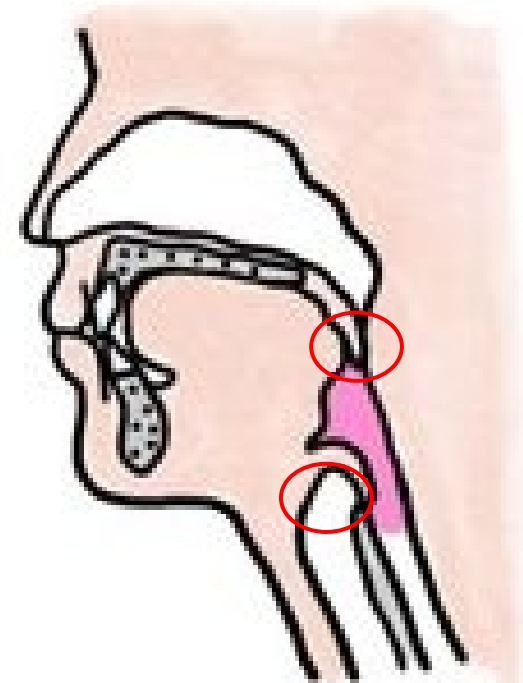
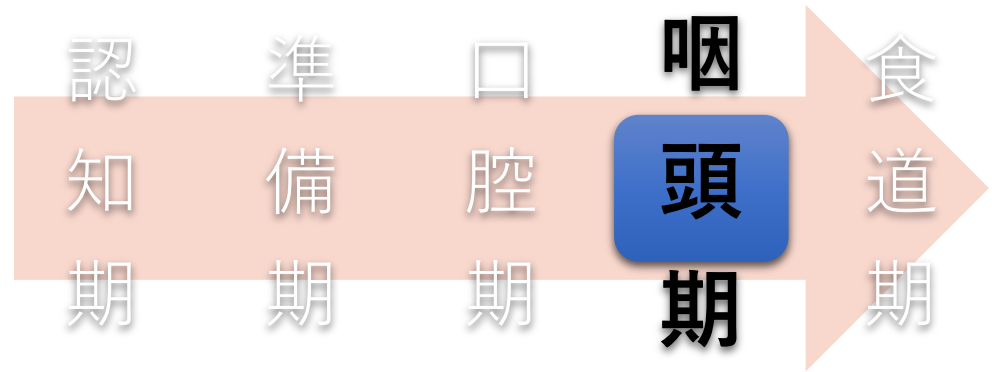
※固形物(咀嚼が必要)は咀嚼が
終わった食物から少しずつ
送り込む。



咽頭期

○咽頭期の役割

- ・ 奥舌の押し込み，鼻咽腔閉鎖，喉頭閉鎖を行う．
- ・ 舌骨・喉頭挙上により食道入口部を開く．
- ・ 咽頭収縮により食塊を食道へ押し込む．



食道期

認
知
期

準
備
期

口
腔
期

咽
頭
期

食
道
期

○食道期の役割

- ・蠕動運動により食塊を胃まで移送する.
- ・胃からの逆流を防ぐため普段は縮小している.

